

かわ ぐち かず お
川口和雄

無会派

●一般質問●

1 合併前の財政計画と合併後の一般会計予算との差異について

(1) 新市まちづくり計画の財政計画における平成18年度予算見込では、1,039億8,500万円、合併後の新市の骨格予算850億5,485万7千円及び肉付けの6月補正40億3,500万円、合わせて財政調整基金の3分の2を取り崩し、歳入歳出、890億8,900万円を捻出したが、合併前の財政計画と約149億円の差異が生じた。

合併の是非を判断する最も重要な財政計画、いわゆるマスタープランは洞察力欠如の産物である事は断じて否定できない。見込みの甘さに大いに反省して頂きたい。

その結果、夢と希望を持った合併は気泡と化し、合併前に確認されている合併特例債の20事業はゼロベースで見直し、各市町村の継続事業、山積する諸事業等は縮小、各種団体補助金は軒並みカット、市民の間からは「何の為の合併であったのか」「合併しなければ良かった」「市民に痛みを押し付けただけ」との厳しい声が日増しに強くなっている。

松田市長は「動く市長室」と称して、大変精力的に各地域を回り住民の意見、要望を聞いて

いるが、合併早々このように逼迫した現行予算をどのように再建し、住民の声をどのように反映させるつもりなのか、また、「元気づくり事業」とは何なのか、どんな戦略を持って「元気な津市」を構築していくのか

問 逼迫した新市の財政をどのような戦略で起死回生させるのか

答 行財政改革大綱の策定を待つまでもなく、できることは直ちに取り組んでいかなければならない。現在の行財政サービスの効率化等に向けた取り組みを進めている。

▶合併協定書調印式
(平成16年11月8日)

おち あい ひし
落合 壽

一津会

●一般質問●

1 都市計画道路の見直しについて

(1) 都市計画決定後事業化の見通しのない道路の見直しを

2 都市計画道路「河芸町島崎町線」の建設促進について

(1) 建設推進状況について
(2) 事業化の見直しについて

3 流域下水道事業「志登茂川処理区」の進捗状況について

(1) 供用開始時期について
(2) 工事中の安全対策について

4 身体障害者福祉の拡充について

(1) 障害者福祉計画について
(2) 自動車改造費補助制度の拡充について

5 マイクロバス運用について

(1) マイクロバスの管理及び運用について

問 マイクロバスが幅広く利用で

きるよう使用基準の見直しを

答 津市所有の自動車全体の管理規程があり、公務以外使用できない。その業務が公務か否かの判断は各車両管理者が行ない、一定のルールで適正運用したい。

6 消防施設補助制度について

(1) 消火栓ボックス等の更新について補助制度を

▶使用基準の見直しで幅広い利用を

